

徳山科学技術振興財団

国際交流助成 応募要領（2026年度）

1. 助成対象	(1) 海外で開催される、新材料（無機、有機、高分子、その他）およびこれに関連する科学技術分野における国際会議への参加。 (2) 参加態様は、研究発表、招待講演、役割分担（役員、座長等）のいずれかに該当すること。 (3) 2026年6月1日から2027年5月31日までの期間に開催される国際会議。
2. 応募資格	以下の条件を満たす研究者とする。 (1) 国内の大学等（大学、大学共同利用機関または高等専門学校）に常勤する45歳未満（2026年3月31日現在）の者。 (2) 所属機関の長（学長、研究科長、学部長または研究所長など）の推薦を受けた者。 ※ただし、2024、2025 年度に本財団から国際交流助成や研究助成を受けた者は対象外。
3. 助成金額	1件 20～50万円（会議開催地により異なる） 約10件
4. 助成条件	(1) 会議終了後、1ヶ月以内に所定の書式で報告書を提出する。 (2) 助成金から間接経費等として所属機関が徴収することは認めない。
5. 応募期間	2026年2月1日 ～2026年3月19日正午必着
6. 選考	本財団が委嘱する選考委員会で選考し、理事会で決定する。
7. 選考結果通知	応募者に結果を通知する。（5月中旬）
8. 提出書類	申請書類は助成業務システム「Graain」上でダウンロードする。 1) 助成業務システム「Graain」から提出する書類 ・①②どちらもPDFで提出する。 ・申請書のタイトルは、「書類名（所属先名・氏名）」とする。 例）助成申請書I～V（○○大・トクヤマ花子） ①「国際交流助成申請書 表紙」 ・推薦者欄に所属機関の長の推薦を受けること。 ②「国際交流助成申請書I～VI」 2) 郵送にて提出する書類 上から①②と重ねて左上をホチキスでとめて1式とし、原本1部と写し3部の計4部を提出する。

	<p>①「国際交流助成申請書 表紙」 ・推薦者欄に所属機関の長の推薦を受けること。</p> <p>②「国際交流助成申請書 I ~VI」</p> <p>※不備のある申請書は原則として受け付けない。</p>
9. 応募方法	<p>助成業務システム「Graain」と郵送の併用で応募する。</p> <p>1) 財団ホームページの「助成について」>「公募案内」>「国際交流助成」より、助成業務システム「Graain」の新規アカウントを作成する。 ※初めての方のみ。すでに「Graain」のアカウントを持っている方は、改めてアカウントを作成する必要なし。</p> <p>2) 「Graain」ログイン後、応募する助成プログラムから申請書類の様式をダウンロードし、申請書を作成する。</p> <p>3) 「Graain」の申請画面の指示に従って必要情報を入力のうえ、作成した申請書類のすべてのファイルをアップロードして電子申請をする。</p> <p>4) 申請書類の原本1部と写し3部の計4部を郵送にて提出する。</p>
10. 書類提出先	<p>公益財団法人 徳山科学技術振興財団 〒745-8648 山口県周南市御影町1-1 電話：0834-34-2581 E-mail：zaidan@tokuyamagr.com</p>

	<p>(1) <u>目的</u>： 発表題目を含め日本語訳で記載する。化学式、記号はそのまま構わない。</p> <p>(2) <u>推薦者氏名および公印</u>： ①推薦者の印は公印を使用する。 ②写し3部にも公印（コピー可）があること。</p> <p>(3) <u>I 会議での発表要旨</u>： 原文の題目および会議名の他、主な参加国、参加者規模、開催頻度なども含め、参加する意義や発表内容の重要性が理解できるよう、日本語800字程度で記載する。</p> <p>(4) <u>II 会議前後の訪問計画</u>： 今回申請する会議以外に訪問する計画がある場合は、訪問先・目的・地名・日程などを記載する。ない場合は「なし」と記載する。</p> <p>(5) <u>III 会議参加許可書（または招待状）</u>： 入手済みの場合は、その写しを申請書4部にそれぞれ添付すること。手続き中の場合は、助成決定後に必ず提出する。</p> <p>(6) <u>IV 開催者側の費用負担</u>： 招待講演など、開催者側から参加費用の一部が支給される場合は、その内容を記載する。該当しない場合は「なし」と記載する。</p> <p>(7) <u>V 本申請に関係した研究業績</u>： 過去3年以内に発表したものの中から、主なもの3件について記載する。 ・論文は題名・誌名・巻号頁・年を記載する。 ・講演は題名・集会名・場所・発表日を記載する。 ※論文等の別刷の添付は不要。</p> <p>(8) <u>VI 他機関からの援助</u>： ①本申請との関係の有無にかかわらず、2022年1月以降、他機関から援助を受けて国際会議に参加した（またはする）ものがあれば、以下の内容を日本語で記載する。 名称・開催時期・開催地・発表形態または役割： 助成金額および助成機関 ②申請中のものについても同じ要領で記載する。該当事項がない場合は、項目ごとに「なし」と記載する。</p>
12. 個人情報の取り扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> 採択者の氏名、年齢、所属、職位、国際会議名称及び関連情報、助成金額については、当財団の年次報告書等で一般に公開する。 提出書類に記載された個人情報については、法令及び財団の規定により適切に取り扱う。

13. その他	<ul style="list-style-type: none">・提出書類は返却しない。・採否決定理由の問い合わせには応じない。・申請後、会議への参加を中止・延期などにより助成が不要となった場合は連絡すること。・他財団等と重複して同じ国際会議への助成は認めない。他財団等からの助成が決定した時は、当財団の助成は受けられないので速やかに連絡すること。・当財団の助成金は所属機関へ奨学寄附金として納める（個人口座には納めない）。
---------	--